

蓮子の父と「わん」<2>

眞父記

田能 千世子

絵／堀江 優



M.HORIE

と書き遺したそうだ。

なんと勁い言葉だろう……。

蓮子の父はこの家で、ありがとうありがとうございました。息を引きとった。三十五歳の死と八十二歳の死。異才とそうでない者の差はあるが、芥川龍之介の遺言には、なお自分に充たされないものがあつて、それをこどもたちにぶつけているように感じられる。

蓮子の前には、本棚から引き出されたぶ厚い芥川の作品集が再び開かれている。一九八ページ。右ページのはじめに「保吉の手帳から」とあり、小見出しに「わん」とある。父が登場するのはこの「わん」の中である。

「父の如く生きよ、もし行きづまれば、父の如く死ね」の男の子たちへ、
「父の如く生きよ、もし行きづまれば、父の如く死ね」のようだ。

芥川は、東京帝国大学英文学科を卒業した大正五年十

一月に恩師の推薦で横須賀の海軍機関学校へ、英語の嘱託教官として赴任した。たいへん真面目な先生であつたらしい。蓮子の父も、七つボタンに憧れて入った海軍経理学校を卒業して主計教官として同じ海軍機関学校に配属された。どちらも二十四歳。二人が出合う。文人と軍人として。そして「わん」が書かれる。父は杯をふくみながらなんどか同じ話をくりかえしたのだった。

——機関学校での昼食には教官全員が食堂に集まるんだ。上席から並んだ文官の最後尾が芥川龍之介で、わしが武官のどんじりってわけで、いつも隣同志になつた。あいつは贅沢なやつで、病気を理由に給付のめしなど食つたことはなかつたな。漫どんぶりばかり食つてやがつた——。

芥川は大正八年には機関学校を辞めて毎日新聞社友となつてゐる。この横須賀時代に取材した作品は、ひつくるめて「保吉もの」と呼ばれるらしいが、その中の一つである「保吉の手帳から」が発表されたのは、四年後の大正十二年五月になつてからだ。この年の九月には関東大震災が起きている。

「わん」は原稿用紙十枚たらずの小品である。書かれている出来事というのは——。

——或冬の日の暮、保吉は軍港町の薄汚いレストランの二階で脂臭い焼パンをかじつてゐた。その夜、六時半から学校で英語会があり、彼は出席する義務があつたので、亀裂の入つた白壁の前で焼パンをかじらなければならなかつた。

保吉のうしろで若い海軍の武官が二人、ビールを飲んでいた。一人は見覚えのある同じ学校の主計官だった。この人から保吉は月々の給料を渡されるので覚えていた。二人は「おい」とか「こら」とかいう言葉で女中におりを注文し、女中もいそいそと給仕をしている。そのくせ保吉のテーブルへは紅茶を一ぱい頼んでもなかな

か持つてはこなかつた。ここが軍港の町だからである。そのうちに、「わんといえ」という声がきこえてきて大嫌いの保吉を脅かす。だがあたりを見回しても犬の姿はない。ただあの顔見知りの主計官が窓の外を見ながらにやに笑つてゐるだけだ。保吉は窓の下に犬がいるのかと覗いてみたが、そこにも犬の影はなかつた。その代りに年ごろ十二三の乞食が一人、二階の窓を見上げて寒そに立つてゐた。

「わんといえ。わんといわんか！」

主計官はまたこういつた。乞食がためらつてゐると、その主計官は、

「わんといえ、わんといえればこれをやるぞ」と何かを振つてみせた。子供の乞食は顔をしかめたがどうどう「わん」とかすかにいつた。

「もっと大きく」

「わん。わん」

乞食はついに大きく鳴いた。主計官の手からネエベル・オレンヂが一つ落ちた。乞食がそれに飛びついて主計官は笑つた。

それから一週間ばかりたつて、保吉は主計部へ月給を貰いにいった。あの主計官が忙しそうに帳簿を開いたり書類を広げたりしてゐる。そのうちにこちらに尻を向けて算盤を弾きはじめた。

保吉はしばらくおとなしく待つたあと、「主計官」と呼びかけた。そして相手の返事を待たずにいつた。

「主計官、わんといいましょうか、え、主計官」

保吉の信ずるところによれば、そういつた時の彼の声は天使よりも優しい位だった——。

というのである。

この主計官はわたしの父だ。昼食のときに芥川の隣に席を占めたわたしの父だ。十五歳の蓮子はたちどころにそう信じた。そのとき狼狽の次に燃え上つた父に対する情なさはその後も蓮子の胸のどこかに燃火となつて見え

隠れしつづけた。父の死後十五年たつてみても、すつか
に死こなつて、消こなつてしまひしよい。

うか……。十五歳の蓮子が落ちこんだ混迷の中で、あの主計官と父とが否憶なしに重なりあつた。

父は蓮子に手をあげたことは一度もない。進学、卒業と教育熱心で、学校にもよく顔を見てくれた。それで

もどこか蓮子にはなじまない軌みがあった。芥川の神経病に突き刺された部分が蓮子にも反撥をさせたのだとおもう。

おい、こら、という猛々しい言葉は戦争が終るまでは巷に溢れかえっていた。いまはスポーツの世界に残るくらいであろう。それに乞食はまったくといっていいほど姿を消してしまった。たった一個のネーブルのために、『わし』と鳴く人間はもはやどこもいながだろう。

「これは人間はどこまで口腹のために自己を犠牲にするか？」という実験である。保吉もパンのために教師になつた

「保吉は時々乞食というのにロマンティックな興味を感じていた。憐憫とか同情とかは一度も感じたことはなかった。もし感じたという者がいれば莫迦か謹つきだと信じていた」

つまり芥川は、ネエベル・オレンヂを餌にして乞食に「わん」といわせた主計官を語っているわけではなかつた。人生の傍観者として、軍人の権柄づくな態度と乞食

の卑屈さを通して人間を冷ややかに眺めているだけである。あとにおまけをつけて、月給をもらうときに相手の主計官をちよつとからかってみたのであった。この部分は芥川のつくり話かもしれない。おそらく、彼を前にしてそういうことをしてみたい思いが胸中にわきあがつただけであろう。

この話はこれでおしまいだ。しかしこの主計官を父に持った娘はどうすればいいのだ。持てる者の傲慢と持たざる者の卑屈。人間の根源的ないやらしさ。そういう父を、雄々しく美しい存在として心の底から仰ぎみられよ

蓮子六歲

そのころ父はすでに海軍を辞めて、独逸のシーメンス系の鉄鋼会社に勤めていた。なぜ海軍を辞めたのか、また、その十年ほど前に海軍側の収賄が発覚して内閣を総辞職にまで追いこんだシーメンス事件として名高い当のシーメンスの会社に、不況のさなか千人の応募者のなかからなぜ父が一人だけ採用されたのか、これも心にひっかかるでないではない。

晩酌を欠かさない父のために、父の定席の前にはかな
らず一皿、まぐろの刺身とか鯛のあらいなどの特別な肴
が添えられていた。

その父の傍に蓮子は毎晩寄り添つて坐り、はじめの一
杯のお酌をした。父が差しだす盃に両手で持つた徳利を
傾けてそろりそろりと注ぐ。うん、と父は満足そうに盃
を口に運んで、のみ終えると、よし、これが、と特別の
お皿の中の一切れを箸でつまみ、あーんと大きくあけて
待つて蓮子の口に入れる。蓮子はそれをもにやもに
やと二度ほど噛んでくつと呑みこむとにっこり笑う。

父も蓮子もそれを面白がっていた。きちんと帯をしめた母もそばでにこにこと眺めていた。毎晩行われる晩酌ゲーム、晩ごはん始めの儀式みたいなものであった。

或る夕暮れ、蓮子は家の近くの野原にいた。青いゴムまりをついて独りで遊んでいた。兄弟はいなかつたから独りで遊ぶのにはなれていた。まりをついている草地の周りには背の高い草が風にそよいでいた。一番大きなものを買ってきて、と父から渡されたのが嬉しくて、スカートを持ちあげたり足をひろげたりして、大きなまりと夢中になつて格闘していた。

気がつくと、いつのまにかあたりが夕焼けで真赤に染まっている。帰らなければいけない時間だとわかつていてたが、空も野原も全部、火がぼうぼうと燃えているよう



で、蓮子自身まで燃えてしまいそうに赤く、そのものの凄

さに蓮子の足は動かなくなってしまった。

不意に目の前に真赤な人間があらわれた。紐で真赤な犬を引っぱっている。人間は赤いパンを食べていた。犬が擦り寄ったが人間は自分で食べている。犬はちんちんをしてみせた。人間はまだ知らん顔をしている。こんどは犬が鼻をならしながらお回りを二回した。人間はうるさそうに、ほれ、とパンを少しづつ投げた。犬はとびついて食べた。

意地悪な人だ、と蓮子が目をこらして見ると、その真赤な人間は蓮子の父の顔をしていた。おどろいて、もしかすると、と犬を見ると、それは蓮子の顔だった。声も出せずに蓮子は立ち竦んだ。

やがて夕焼けが溶けだした。赤い天地はみるまに消えて、紫色がずんずん押しあがいてきた。蓮子が目をしばだたくと、そこには紫色に染まつたどこかのお兄さんが紫色の犬を引っぱってのんきそうに歩いているだけだった。帰るとやはり叱られた。蓮子がいつもするお酌をしないでふくれていて、自分が叱つたせいだとおもつたのか、父は、蓮子お酌をしないのか、とやさしい声をかけてきた。

あの真赤な父と自分とをたたいたい見てきたところだ。蓮子は黙つて白目をむいた。こら早くせんか。いや。なんだ、もう一ぺんいつてみろ。いや、犬じやないもん。

父の顔はさつと硬ばつて、ぶるぶる震えだした腕をのばすと、おなじように震えている蓮子をつかまえて無理やりに徳利を持たせた。徳利からお酒がごぼごぼとこぼれて盃にすこしも入らなかつた。さあ、口をあける。仰向かれた蓮子の口にお刺身の一切れが押しこまれた。蓮子は吐き出そうともがいたが、ひえつとしゃっくりのような息をしてしまい、その瞬間、それはぬるりと蓮子の喉を通りぬけてしまった。

そのあいだ、母はどうしていたのかまったく覚えてい

ない。

蓮子十歳。

お正月であった。蓮子の一家は朝鮮の京城にいた。

京城の冬は厳しい。零下二〇度以下日の日がなん日もつづく。朝は家じゅうの窓ガラスに氷の花が雪片を幾何学模様にはりつけたようにびっしりとつく。鉄の棒に触れると、びたつと掌や指がくっついてしまい、お湯をかけないと離れない。りんごやみかんを夜のあいだ戸外へ出しておくと、朝にはチャリチャリと舌ざわりのいいシャーベットになつた。小さな川もすっかり凍りついて、その上に人々が流す水が段々になってこんもりと盛り上つてまた凍つていた。

父は或る新年の集まりに蓮子を伴つた。白い兎の毛で縁どられた新しいピンクの帽子をかぶせられた。ピンクは似合わないと思っていたので、いやだとい張つてみたがだめだった。タクシーはチエインを巻いていた。

寒い処はどこでもそうだが、戸外から入ると家中は充分すぎるほど暖房が効いている。その家は中央に太い柱のようなベチカがあつて、そのベチカを取り巻いて四方に部屋があつた。一つの部屋に何人かの大人がいたが、子どもは蓮子一人だった。その家のおばさんが黒の紋付を着て金銀の舞扇をひらひらさせて踊つた。

そのあと、蓮子に歌をうたうようにとおじさんが促した。蓮子は素直に金屏風の前に立つた。

—お城の塔の古時計

日ごとに二分遅れます 知っているのは岩つばめ

知つていていたとて鳥じやもの

黙つて空で 宙返り

やがてお昼に月が出て

露の干ぬまに日が暮れる…… 「やがてお昼に月が出て」から緩かなテンポに変るお気に入りの歌を元気にうたつた。このころの蓮子はほんとうに元気な子だった。学校で男の子たちに、レンコ、レンコン、レンコダイ、などと囁かれるといふと、よーし、と棒を振りあげてどこまでも追いかけた。

(つづく)

神戸文学賞作品募集

本誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞・神戸女流文学賞を創設いたしました。これまで左記の通りに各賞の受賞作が決定しておりますが、第11回の募集より、さらに賞の向上をはかるため「神戸文学賞」の名称に統一、受賞作を一作品として、現在、広く作品を募集いたしております。

○第一回神戸文学賞「島之内ブルース」(田嶋新・尼崎市) 同女流文学賞「ベットの背景」(小倉弘子・大阪市)

○第二回神戸文学賞「絶捨て」(奥野忠昭・大阪府柏原市) 「生花」(吉峰正人・神戸市)

(この回の神戸女流文学賞は該当なし) 神戸文学賞を「作が受賞」

○第三回神戸文学賞「自由と正義の水たまり」(蒼竜一・奈良市) 同女流文学賞「夢の消滅」(大原由記子・高知市)

○第四回神戸文学賞「溶ける闇」(高木敏克・神戸市) 同女流文学賞「影と棲む」(田口佳子・伊丹市)

○第五回神戸文学賞「担当なし」(同女流文学賞「痕跡」(久保田匡子・大阪市)

○第六回神戸文学賞「ガチャマン」(南禪満作・神戸市)

○第七回神戸文学賞「凶鳥の群」(徳留節・京都府) 同女流文学賞「薔薇の京都」(菊池佐紀・愛媛県)

○第八回神戸文学賞「昔の眠」(服部洋介・神戸市) 同女流文学賞「いちじく」(字山翠・北九州市)

○第九回神戸文学賞「ストラーブラグ」(桑田朋子・高石市) 「いちじく」(字山翠・北九州市)

(この回の神戸女流文学賞は該当なし) 神戸女流文学賞を「作が受賞」

○第十回神戸文学賞「おどんナ海賊」(塙田照夫・長崎市) 「オレンジ色の闇」(舟木かな子・神戸市)

○第十一回神戸文学賞「駆父記」(田能千世子・茨木市)

(この回より神戸文学賞と同女流文学賞を一本化)

ここに第12回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

△募集要項▽

一、応募作品は小説とし、応募資格は問い合わせません。ただし応募作品数は一篇に限ります。

一、応募作品は未発表原稿、または縮切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。

一、原稿枚数は四百字詰70枚。

一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品梗概をつけて下さい。

一、締切りは八月三十一日(当日消印有効)

△選考委員▽小島輝正・島京子・川端柳太郎・杜山悠

神戸っ子と
出合うう

月刊「神戸
っ子」は思
いがけない
ところで…



第一グランドホテル
神戸文化ホール P.G
シネマガード

兵庫県民会館
神戸国際港湾博物館

神戸市中央市民病院
そごう神戸店 美術画廊

ギヤラリータビエス
ファミリア北野坂ハウス
ブティック魔女／アトリエよしこ

テルミニ
フィッシュヤーマンズポート

トム・キヤンティ
ガストロノミ

ヤマト化粧品店
キヤノン化粧品店

トム・キヤンティ
ガストロノミ

神戸の神戸
神戸ワシントンホテル

タワーサイドホテル
サンサイドホテル

六甲オリエンタルホテル
六甲山ホテル

ホテルブランチ
ホテルブランチ

雅叙園ホテル
六甲オリエンタルホテル

タワーサイドホテル
サンサイドホテル

●神戸っ子は左記の書店で

三宮ブックス
芸亭

★神戸市兵庫区
神戸市長田区

日東館長田店
秋田百文館

大盛堂書店
シオサイ

漢口堂書店
川瀬書店

かもめ書店
華文堂

大盛堂書店
アイビーカー

大盛堂書店
キリン堂書店

岡本書房
ホンジョー

大蔵書房
サンエー書店

甲南ブックス
甲南ブックス

御影ブックス
御影ブックス

中南学生協
中南学生協

グリーンブックス
グリーンブックス

ラブ書房
ラブ書房

サンエー書店
サンエー書店

カスガノ書店
カスガノ書店

ヨウコ堂書店
ヨウコ堂書店

吉田書店
吉田書店

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

★西宮市
千種書房

芸亭
みどりや書店

風川書店
川瀬書店

アーヴィング
アーヴィング

大蔵書房
大蔵書房

</div

招福の一品

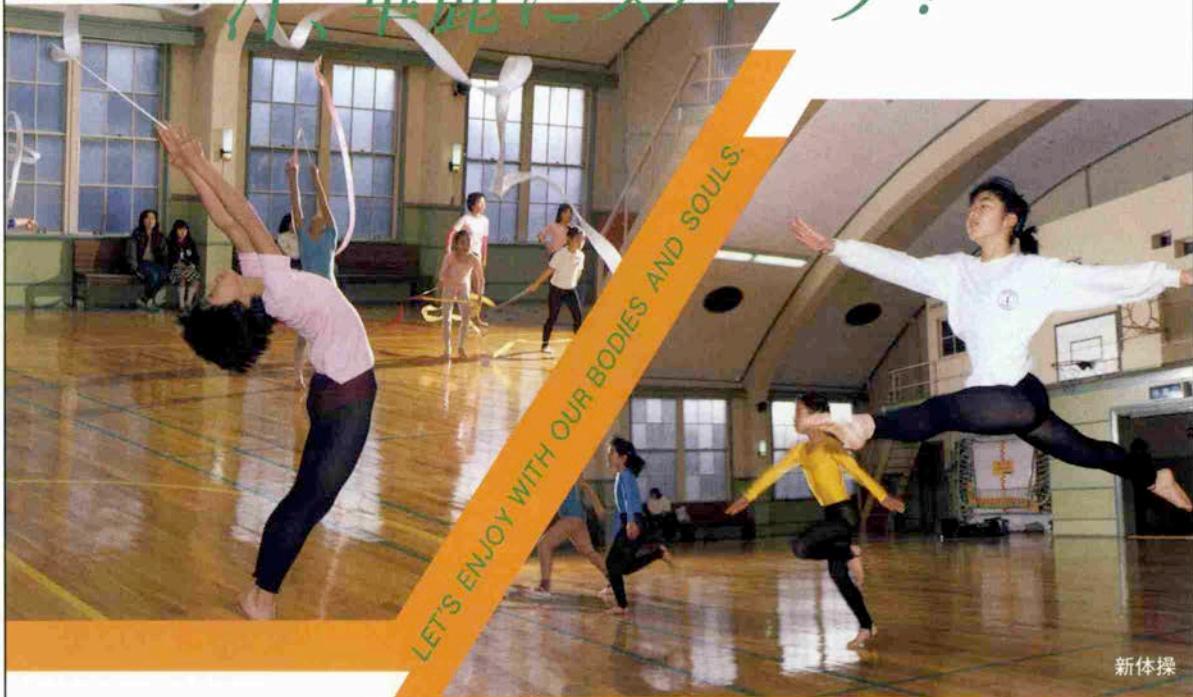


京懐石 5,000円より
松花堂 3,500円(午後2時迄)

芦屋店
打出小郡町30
営業時間 午前11時～午後10時(駐車場有り)
京都本店：京都・山科区小山中島町128
新宿店：東京・新宿区西新宿2の4の1
TEL(03)3498-8789

京
わらびの里

汗、華麗にスパーク！



新体操

＜教室案内＞ 剣道・柔道・
杖道・薙刀・空手道・合氣
道・少林寺拳法・太極拳

・クラシックバレエ・

ヨガ・ミニバスケット

・小学生体操・親子

体操・幼児体操・

バトミントン・

跆拳道・ローラ

ースケート・

婦人体操



SPORTS CLUB ROKKO

六甲体育馆

お問い合わせ・お申込みは

神戸市灘区新在家北町2 ☎ (078) 841-1084

入会申込み受付中！

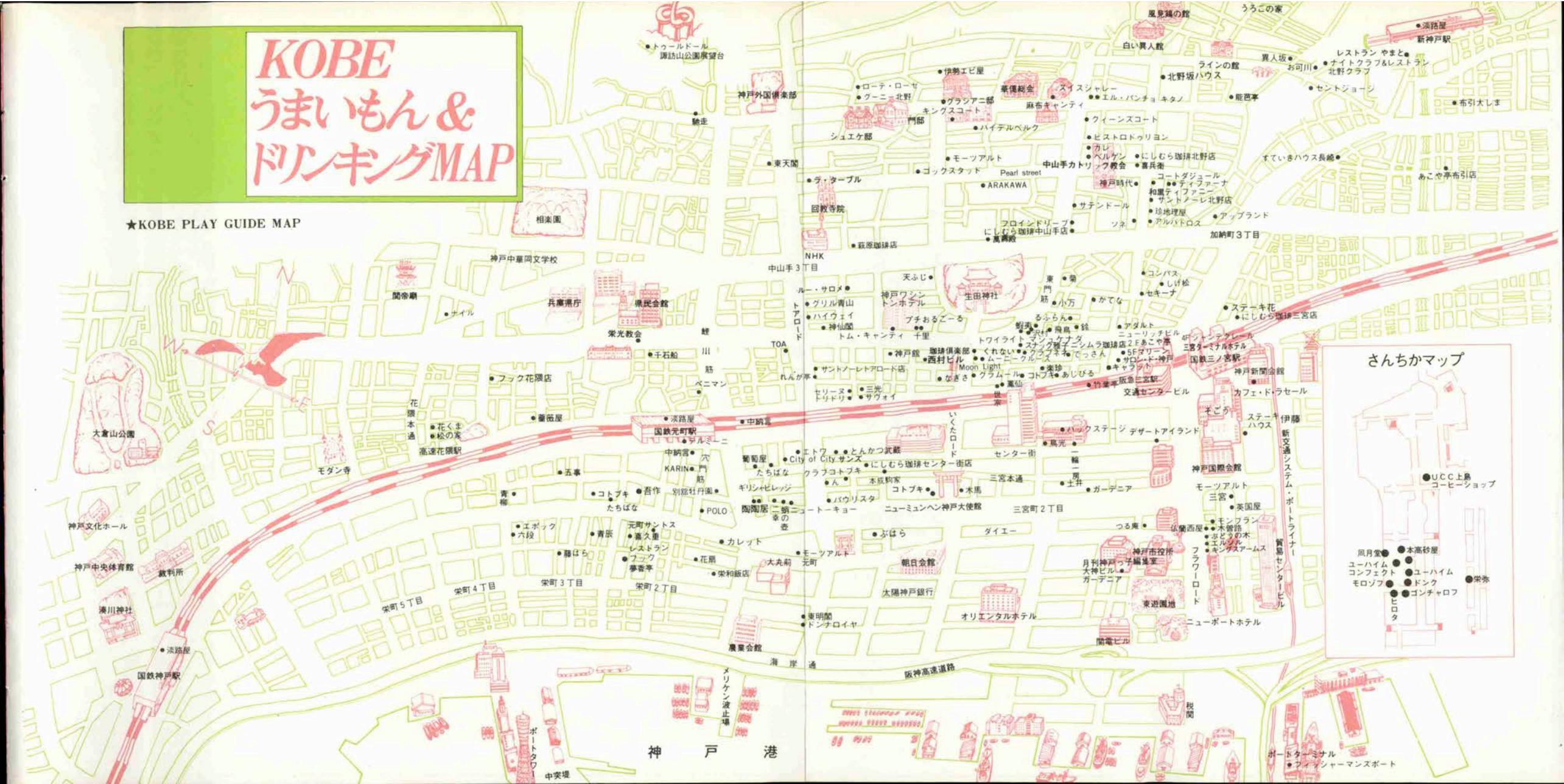
入会金 3,000円

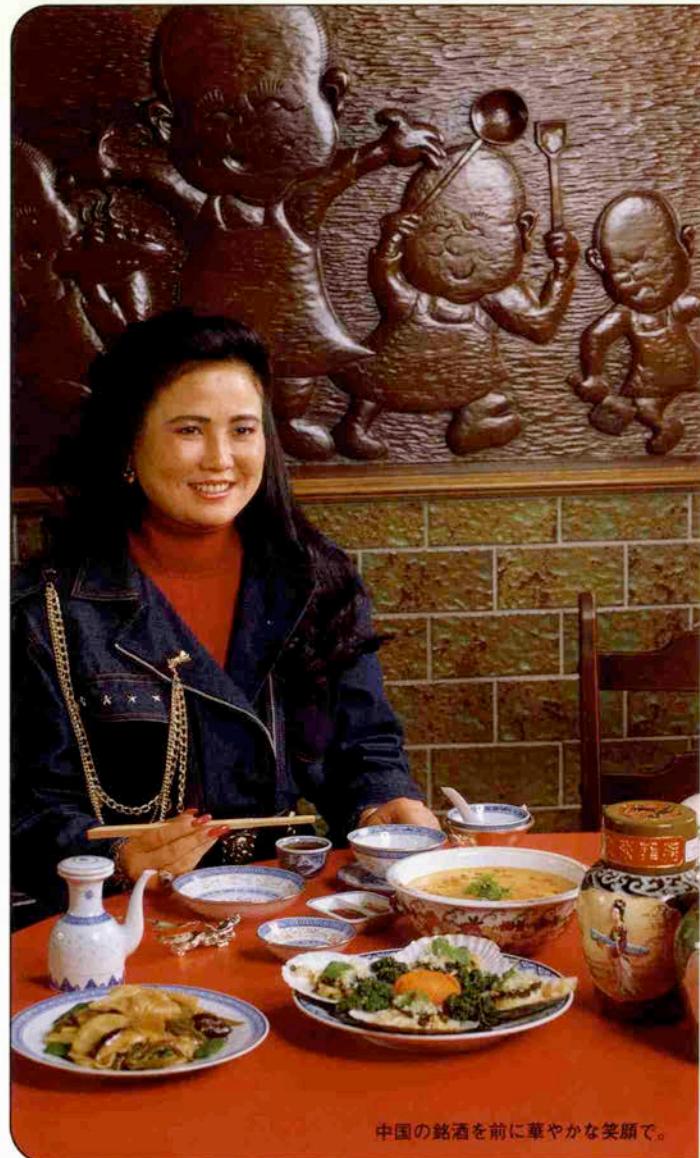
年会費 3,000円



KOBE うまいもん& ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP





美味一品



シーチャフチエンシンパイ
おすすめの一品 豉汁蒸扇貝
(ホタテ貝の中中国納豆蒸し)



李久美さん〈スナック・バー〉

ゴルフ好きの李さん、月に3~4回はグリーンに出かけ、お店の名前もローラ・バーをもじった。「ゴルフも好きだけど、プレイ後、皆と食卓を囲むのももうひとつの楽しみなのよ。」12才まで中国に、その後日本に来られたが、やはり本場の味を覚えている舌は本物を見分けるらしい。「ほとんど毎日のように来ています。吟味された材料を最高の腕で調理してもらえますから。」

当店は本店も支店もございません!

広東料理
神戸元町別館牡丹園

元町通1丁目協和銀行北側小路西へ入る
☎331-5790・6611 11AM~8:30PM 第2.3水曜休(但し、12月は無休)

ST. VALENTINE'S DAY

FOR YOU WITH LOVE

ステーキの社交場。ワインの香りと
肉のうまさに語らいも弾む神戸のハイ
ソサエティが集うステーキハウスです。



神戸市中央区御幸通7-1-20
(大信ビル8F) ☎ (078) 232-3031

ステーキハウス
伊藤

トアロード・北野でさわやかな時
流れを……。サンタノーレのムード
イーな演奏をお楽しみ下さい。



トアロード店／中央区下山手通 2-5-6
☎ 391-8322
北野店／ダイワ・ナイトブザザ 6F
☎ 221-8386

ミュージック・ラウンジ

サンタノーレ

パッケージの中には、一つ一つ違う
味と香りが……。とつておきの愛をモ
ーツアルトのチョコレートで贈ります。



神戸(加納町3丁目バス停前) ☎ 242-3001
三宮(国際会館南側) ☎ 251-3616
元町(大丸神戸店山側) ☎ 332-0886

ウィーン菓子
モーツアルト

白いインテリアにつつまれ、ヤング
に人気のあるカフェガーデニア。手作
りケーキも好評。地下もご利用下さい。



本店／中央区東町 113-1 大神ビル1F
☎ 321-5114
三宮店／中央区三宮町1 大和ビル1F
☎ 392-4004

Cafe・Tea Room
ガーデニア

SHOPPING

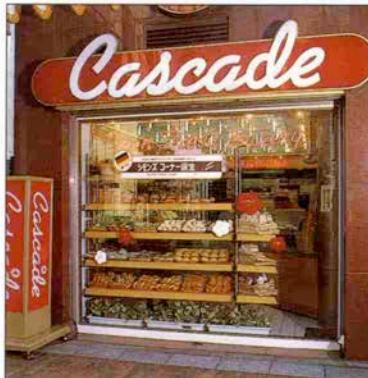
ST. VALENTINE'S DAY

KOBEから愛の贈りもの

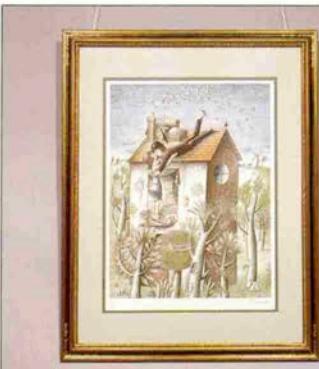


●べつ甲
太田べつ甲店
元町1番街山側
☎ 331-6195

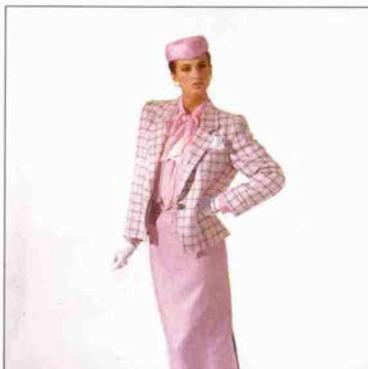
あなたの個性を生かすべつ甲のアク
セサリー。初春のおしゃれにお役立て
下さい。贈りものにもぜひどうぞ。



●手づくりの心をつたえる
Cascade
北野坂店
☎ 332-2731
「北野坂の正面玄関にある人気ショッ
プ、カスカーデード北野坂店。パイシキ
が人気No.1です。」



●画材・額縁
トアロード・大丸前
☎ 331-1309
「メルヘンチックなアートは見る者の
心をなごませます。お部屋のお洒落な
アクセサリーに...」



●洋装店
クチユールラ・セーヌ
大丸前
☎ 331-3654
「すこし知的でセクシーで
あなたらしく...春の装い...」

美味贅沢

おいしい料理にはずむ会話とくれば、欠かせないのがワイン。ソフトでやさしいのみくちは、淡白な伊勢海老と相性が良いようです。中納言では、みなさまのお好みで選んでいただけるよう、オリジナルの特製ワインをはじめ、本場フランス、ドイツ、アメリカワインまで豊富に取り揃えています。これだけ揃えればカーヴ（酒倉）の気分。飲みごろに冷やしてお待ちしています。

- 伊勢海老具足煮
- 伊勢海老塩焼
- 伊勢海老マヨネーズサラダ
- 伊勢海老甲羅揚げ
- 伊勢海老レモン焼
- 伊勢海老クリーム煮
- 伊勢海老中納言焼
- 伊勢海老酒蒸し
- 伊勢海老酢の物
- 伊勢海老活造り
- 伊勢海老バター焼

- 伊勢海老テルミドール
- 伊勢海老フライ
- 伊勢海老ぞうすい
- 伊勢海老コキュール
- 伊勢海老コロッケ
- 伊勢海老チーズ焼
- 伊勢海老クレープ
- 伊勢海老鬼瓦焼
- 伊勢海老天ぷら
- 伊勢海老ヨーグルトスープ



活伊勢海老料理

CHINACON 中納言

神戸プラザホテル店☎ (078) 331-7918 国鉄伊勢口町商店
神戸プラザホテル

神戸元町東店☎ (078) 392-1685 国鉄元町駅口モニカル館内
歩いて30m 落成下

芦屋店☎ (0797) 23-2535-2662 国鉄芦屋駅山側
カナルテラス

大阪心斎橋店☎ (06) 244-9866~7

大阪駅前第3ビル店☎ (06) 341-5460

大阪駅前第4ビル店☎ (06) 344-8685

港区東神田4-1-5
第2心斎橋ビル2F

廿日市駅1-1-3-3200
駅前第3ビル2F

北区鶴田1-1-4
駅前第4ビル1F

プラスリー
北野食堂



大正ロマンを味に託して

●お昼の定食

- 〈朝鈎 (あさげ)〉 菜料理 九百圓
- 〈昼鈎 (ひるげ)〉 魚料理 千百圓
- 〈夕鈎 (ゆうげ)〉 肉料理 千三百圓

●炊事頭自慢

- 〈純神戸肉〉
- ヘル 四千圓 コース 五千二百圓
- ロース 四千八百圓 コース 六千圓

●その他

- 〈大鉢〉〈菜〉〈あて・あわせ〉
- 〈はしやすめ〉〈おまわり・おめぐり〉
- 〈あじ しおけ〉〈手前味噌〉
- 〈一服〉〈一休〉など趣向を凝らした一品料理もございます。



ハイカラ神戸の原点に触れるような、モダンなインテリアと、美味を追求したとりどりの膳。日本人の舌が育んだ懐しい味、和と洋の粋を凝らした洒落た一品、素材の良さを生かした本格派の味わい。日常感覚で楽しめる、おしゃれでおいしい時間をぜひあなたも。



神戸市中央区北野町4丁目8-3

☎ 078-221-0168

営業時間：午前11時～午後10時

和風、洋風、当世風。楽しみ方も自分流。

選りすぐつて、飲みにケーション・スポット。



お祭り気分で飲れる
ふるさと感覚のフロア。



櫛茶屋三宮店

078(332)3732
1F/078(331)3621
三宮・生田筋
西村ビルB1・1F



心あたたまるパニーの
サービス、ぐつろぎのフロア。



ザ・ロイヤル三宮店

078(332)1251
阪急三宮西口
レインボーブラザ6F



最高の料理を最高の空間で
本格派ダイニングバー。



ゲストハウスプレゴ

078(222)4885
北野、ハンター坂
リランズゲートB1



ジョギング気分でワインを楽しむ
ニューヨーク感覚フロア。



ザ・ワインバー三宮店

078(332)1057
阪急三宮西口
レインボーブラザ5F

リランズゲート

神戸市中央区山本通2-4-24

西村ビル

神戸市中央区北長狭通2-12-10



レインボーブラザ

神戸市中央区北長狭通1-9-3

OnLine
大和実業グループ

祝★神戸開港120年
究極のカクテル
Blue Marine



トム・キャンティでは各種のカクテルが楽しめます。

ヴァレンタイン♥コンサート
小海智子 愛、自由、そして人生を謳う！

ばら色の人生・詩人の魂・愛の讃歌……

2月12日(木) 1部6:00PM 2部8:00PM

会費 ¥5,000(オードブル付・フリードリンク)



小海智子



マスター／榎晴夫



ピアノ／中田実朗

Restaurant-Bar
Tom Chianti*

神戸市中央区下山手通2丁目11-5
神戸ワシントンホテル1F
<年中無休> TEL (078) 331-2122
PM5:00～AM2:00(日曜日AM12:00迄)



ジャズの生演奏が好きと言う、(株)ワールドの浦田直美さん、有馬聰子さん、足立香代子さん(右から)は、みなさん一人暮らし。いいお店との出会いに乾杯! /

JAZZ & WHISKY HOUSE
SATIN DOLL.

中央区中山手通1 富士産業ビル1F
☎ 242-0100 無休



パーティ、予約受付、飲みもの込 3,000円より
夜のお食事は予約の上、お越し下さいますよう。

レストラン サルーテ
RESTAURANT SALUTE

風見鶏の館を西へ50m・白い異人館の山側
14-13, 3chome Kitano-cho chuo-ku kobe-city
phone BF/(078)251-9060 毎月曜休 AM11:00~PM9:00



カップを手にするときは、いつも最高でいたい。マイペースタイムをカレットで…。姉妹店 ミカフェ・ド・ラセル、もご愛顧ください。

サロン ド ティ
Carette

神戸市中央区元町通1丁目元町一番街
☎ (078)321-1739



「味」とシャレた雰囲気に趣向をこらしました。ご宴会の予約も承っておりますのでぜひご利用下さい。



あこや亭
ボーアイプラザ店

中央区港島中町6丁目14番(ボートビアプラザH棟)

☎ 303-3232

営業時間: 午前11:30~午後10:00まで 年中無休

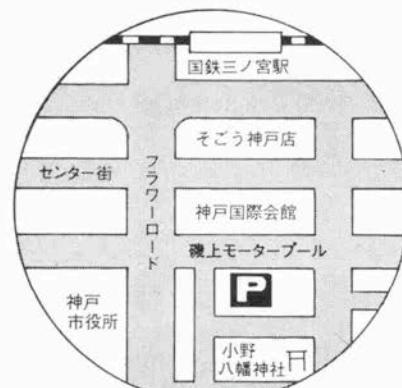
T
A
S
T
E
E
R
E
K
O
B
E

ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モーターパール

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)



● 収容台数 350台

● 月極駐車可

● 年中無休

KITANO MAP

♡炭火焙煎されたおいしい珈琲店

数多くの珈琲店が並ぶ北野町だが、の中でも炭火焙煎されたおいしい珈琲の店と評判の北野珈琲店。コーヒーの味は軽いが、水っぽくはなく豆は割合深く煎っており、苦みがすっきり快い。色も透明なかんじの黒褐色。

コーヒー豆をミルでていねいにひき、それを大事に扱っているご主人と奥さんの顔が他とはちょっと違う。



コーヒーカップはお好みで

炭火で焙煎した、手づくりのコーヒー豆も販売している (100g 700円)

■山本通 2-13-13

☎ 241-0903

♡バレンタインはパピエシフォンで

野菜のかたちのパッケージのチョコレートなど、ユニークな世界のチョコレートが揃っているパピエシフォン。バレンタインのシーズンを迎える、店内を模様替え。壁面いっぱいに大小さまざまなファッショナブルなケースに色とりどりのチョコレートをつめたセットが40種類以上も並ぶ。

ショーケースの中には

ビーシーチョコ (1個



みるだけでも楽しいチョコたち

150円～) も。大事な人のプレゼントにはもってこい!

■北野町 4-1-12 異人館俱楽部 B1 ☎ 222-1761

フランス料理
北野クラブ

中央区北野町1丁目5-7
☎ 222-5123
11AM～2:30PM
(ランチ/クインズランチは2:30PMまで)
5PM～10:30PM(ディナー)

WOODY FASHIONED STYLE
RESTAURANT SALUTE

レストラン サルーテ

中央区北野町3丁目14-13
風見鶏の館を西へ50M
☎ 251-9060 11AM～9PM 月曜休

COFFEE & SOUVENIR
うろこの家

中央区北野町2丁目
☎ 242-6530

異人館のユーハイム
ラインの館

中央区北野町2丁目10-24
☎ 222-6266
10AM～6PM 第3木曜定休

神戸割烹
お可川

中央区北野町1丁目5-10
☎ 222-3511
11AM～9PM

スカンディナビア料理と
世界の民族音楽の店
ゴックスタッド

中央区山本通 回教寺院前
☎ 242-0131
5PM～1AM 水曜定休

フランス料理
グラシアニ

中央区北野町4-8-1
☎ 242-0597 火曜休 予約制

フランス料理
グーニー北野

中央区北野町4丁目
北野林マンションB1F
☎ 242-2562

手づくりのシフォンケーキと
サンドイッチ
アミリア
北野坂ハウス

中央区北野町2(北野坂)
☎ 222-3535
11AM～6PM 月曜休

フランス料理
ビストロドゥリヨン

中央区山本通2丁目13-6
☎ 221-2727
正午～10PM 月曜休

ロブスター・伊勢えび料理専門店
キャブテン・テーブル
伊勢えび屋

中央区北野町4丁目6-8
☎ 222-0766
10AM～10PM 年中無休 駐車場有

英国風レストラン
St. George Japan

中央区北野町1丁目2-17
☎ 242-1234
11AM～4PM(ランチタイム)
5PM～11PM(会員制)

会員制レストラン
インターナショナルゾーン
CASABLANCA CLUB
カサブランカクラブ

中央区北野町3-1-6

☎ 241-0200・222-0182(バビロン)
入会金10,000円
お食事 2,000円～
17:00～24:00 (フルコース)

メンバーズラウンジ
異人坂花苑

中央区北野町2丁目9-22
☎ 222-2001
11AM～5PM(ティータイム)
5:30PM～12PM(メンバースタイム)

ギャラリー・ティールーム
神戸時代

中央区中山手通1丁目23-10
モンシャトウコトブキビル
☎ 242-3567
11AM～5PM(ティータイム) 土曜休
6PM～12PM(ドリンクタイム) 日祝休

フランス料理
ジャン・ムーラン

中央区北野町3丁目1-1
☎ 242-4188
11:30AM～2PM
5PM～10PM 水曜休

坂のある町・散歩道

KITANO

